
意味がわかると怖い話 おかぁさん入れて！！

ニブルス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

意味がわかると怖い話 おかあさん入れて！！

【Nコード】

N96510

【作者名】

ニブルス

【あらすじ】

意味がわかると怖い話です。隠されて意味を推理して恐怖を感じてください。

一人暮らしの30代の女性がいました。彼女のアパートは格安でお世辞にも綺麗とは言えない物件でした。

彼女は最近このアパートに越してきたばかりでしたが、引っ越し当初から不可解な出来事に悩まされていた。

深夜床についていると誰もいないはずの玄関の方からからひそひそと話し声が聞こえたり。

部屋でテレビを見ていると、玄関のドアの方から「ガタ」という音が聞こえて、そっーと外を見てもそこに誰の姿もなく

足音らしい音が「タッタッタ・・・」と聞こえるだけだった。最初、変質者の仕業かな？とも考えたがあまりに頻繁に

続くので、もしかしたら以前住んでいた人の霊か何かと気になってしまっていた。

そんな出来事が続いてまいってしまった女性は、アパートを仲介した不動産会社に相談に行くことにした。

不動産会社にあの部屋に越してから変な事が起きると訴えても、不動産会社は口を濁すだけで、まるで話にならなかった。

女性はこれは自分で何とかするしかないと思い、昔テレビの心霊特集で固定カメラを設置して霊の影らしき物を

撮影していた番組を思い出した。女性は古くからの友人にビデオカメラを借りることにした。友人は昔からそう言った

「オカルト」が大の苦手のように怯えて、とても助立ちできるような感じではなかった。ちょっとビビりすぎていたので

思わず馬鹿にして笑ってしまった。

彼女はその晩深夜、玄関付近にビデオカメラを設置して眠ることにした。

とは言った物の気になって眠れない……。彼女は恐る恐る玄関の法に近づくと……

「おかあさん・入れて……」とか細い声が聞こえてきた。え？
と思った女性は何だどこかの迷子かな？

と、ドアを開けると、誰もいない。

あれ、おかしいなと思って寢床に戻るとまた気配を感じた。今度はちよつと怖くなったのでお風呂場にある

洗面器を片手に玄関に近づいた。するとやはり「おかあさーんん入れてー！ー！」と聞こえた。

その声は次第に大きくなって「おかあさーん！！イレテー！！イレロー！！」と変化しだした。

その声はもはやこの世の者とは思えない気迫で、おまけに「ドン！

ドン！！ドン！！！！」と

薄い玄関のドアを吹き飛ばしてしまう勢いで空けようとしていた。

感情が破裂寸前の女性は、手に持っていた洗面器を振りかざすとドアをバコン！と空けた瞬間声の主に投げつけた！！

女性の苗字が入った洗面器は物凄い勢いで空を切り裂き、そして暗闇へと消えた・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9651o/>

意味がわかると怖い話 おかあさん入れて！！

2010年11月17日07時29分発行